

文化芸術交流事業に必要な経費

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 受託事業（アセアン）
- (2) 中学高校教員交流（招へい）
- (3) 中学高校教員交流（派遣）
- (4) 開高健記念アジア作家招へい

2. 催し等事業費

- (1) 市民青少年交流（主催/派遣）
- (2) 市民青少年交流（主催/招へい）
- (3) 市民青少年交流（助成）〔生活文化〕

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費 / (1) 受託事業 (アセアン)

国際交流基金の業務趣旨に合致する市民青少年交流事業を、外部から受託し実施する。

合計額 27,551,391 円

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
1	JENESYS次世代リーダープログラム	HWANG Yu Kyeng	Puhung高校 教師	韓国	2009.06.01 ~ 2009.06.14	アジアコミュニティの将来を担う各国の次世代リーダー候補者を対象に、対日理解の促進及び親日感情の醸成を図ると共に、アジアにおける重要なテーマについての議論等を通じて長期的に社会各層・分野にわたる知日派次世代リーダーを育成し、アジアにおける人的ネットワークを構築することを目的として実施。今回は、「自然との共生と持続可能な循環社会 (Symbiosis with Nature and a Sustainable Society)」をテーマに、NGO/NPO関係者及び初中等教育関係者40名を招へい。一行は、東京、京都、三重、愛知を訪問して環境問題・環境教育に取り組む自治体、NGOや学校を訪問し視察や意見交換を実施
		LIM Sun A	Citizens' Movement for Environmental Justice環境活動家	韓国		
		MOH Youngdawng	湿地教育院 (Wetlands Korea) 国際協力コンサルタント	韓国		
		YU Yin	水生環境とレジリエンスに関するメコンプログラム (Mekong Program on Water Environment and Resilience(M-POWER)) 研究員	中国		
		ZHONG Zhenxi	ジェーン・グドール・インスティテュート・上海 ルーツ&シューツ (Jane Goodall Institute-Shanghai Roots & Shoots) 職員	中国		
		Astri Wahyuni	ボゴール農科大学付属コルニタ高校 (SMA Kornita) 教師	インドネシア		
		LAODE Yahya	インドネシア環境フォーラム北スラウェシ支部 (The Indonesian Forum for Environment North Sulawesi) 職員	インドネシア		
		Sri Wedarni	国立第4デンパサール高校 (SMAN 4 Denpasar) 教師	インドネシア		
		Suprianto	東カリマンタン環境教育ネットワーク (East Kalimantan Environmental Education Network) 職員	インドネシア		
		PRUM Navuth	ルシナ・コミュニティ協同組合ネットワーク (LEUCAENA / Community Cooperative Network) 職員	カンボジア		
		SAY Bora	特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンター (Japan International Volunteer Center) 職員	カンボジア		
		LIM Yoong Hwee	シンガポール環境評議会 (Singapore Environment Council)	シンガポール		

市民青少年交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	Mooksuwan Walaiporn	チュラロンコン大学環境・汚染廃棄物 管理センター (Center of Excellence for Environmental and Hazardous Waste Management) 研究員	タイ		
	SALAEMAE Akamal Aikmal	タムビッティヤ学校 (Tham Vitya Foundation School) 教師	タイ		
	Songthammawat Pooncharat	タイ環境研究所 (Thailand Environment Institute (TEI)) 研究員	タイ		
	ALIPIO Arthur Joseph Paul Datu	環境教育者／冒険ガイド	フィリピン		
	EDRIAL Michael Jardiniano	Haribon自然保護財団 (Haribon Foundation for the Conservation of Nature) 環境専門家／生物学者	フィリピン		
	EGUALAN Jasmin Gallano	Dep Ed., Gov. Julio V. Macuja Mem. Comp. 高校	フィリピン		
	FLORES Allan Abroguena	首都大学基礎教育学科 (Capital University Basic Education Department) 教師	フィリピン		
	Marzlizayati Binti Johari	ブルネイ ダルサラーム大学 (University of Brunei Darussalam) 講師	ブルネイ		
	Mohammad Azmye Bin Haji Alamin	開発省 (Ministry of Development) 公務員	ブルネイ		
	Mohammad Shari Bin Hj Abd Kahar	ダトー・マーサル小学校 (Dato Marsal Primary School) 教官	ブルネイ		
	Pg Hajah Mashayu Binti Pg Haji Yusof	ドゥリ・ペンギラン・ムダ・アル・ム ハタディー・ピラ・カレッジ (Duli Pengiran Muda Al-Muhtadee Billah College) 教官	ブルネイ		
	LE Tuan Ngoc	天然資源・環境省 (Ministry of Natural Resources and Environment) 副大臣秘書	ベトナム		
	NGUYEN Giang Huong	ハノイ市における3R活動の実施支援プ ロジェクト (The Project for Implementation Support for 3R Initiative in Hanoi City)	ベトナム		

市民青少年交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	NGUYEN Tung Thanh	農業・農村開発省森林局 (Department of Forestry, Ministry of Agriculture and Rural Development)	ベトナム		
	Vo Cong Huu	ハノイ農業大学農業調査・生態学研究センター天然資源管理・環境学科 (Dept. of Natural Resources Management & Environment, Center for Agricultural Research and Ecological Studies Hanoi University of Agriculture)	ベトナム		
	ABDUL RAHMAN Umi A' Zuhrah	世界自然保護基金マレーシアWWF Malaysiaプログラム・オフィサー	マレーシア		
	ADMAN Mohammad Adam	セランゴール産業大学 (University of Industry Selangor) 講師	マレーシア		
	Johari Sofia	世界自然保護基金マレーシア (WWF Malaysia) プログラム・オフィサー	マレーシア		
	Gum Sha Aung	メッタ開発基金 (Metta Development Foundation) プログラム・コーディネーター	ミャンマー		
	San Zwa Li	トータル・ラーニング・アカデミー (Total Learning Academy) 数学科長	ミャンマー		
	Sang Za Nuam	国際言語・ビジネスセンター (International Language & Business Center) 教師	ミャンマー		
	Thiha Kyaw	マングローブ・サービス・ネットワーク (Mangrove Service Network) / Youth Coordinator	ミャンマー		
	KUKREJA SHWETA	スプリングデールズ・スクール (Springdales School)	インド		
	RANI Ranjeeta	ギャン・マンディル・パブリック・スクール (Gyan Mandir Public School) 教師	インド		
	STAMATIOU John Emmanuel	シンクレア・ナイト・メルツ (Sinclair Knight Merz) 環境科学者	オーストラリア		
	van Erp Sarah Jane	総合環境センター (Total Environmental Centre) 廃棄物極小化プロジェクト・オフィサー	オーストラリア		

市民青少年交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	BOULD Nicola Louise	ダニーデン市議会 (Dunedin City Council) コミュニティボード・メンバー／オタゴ大学 (University of Otago) 博士課程	ニュージーランド		
	ROBERTS Tracy Anne	カンタベリー大学 (University of Canterbury Education Plus) スクール・アドバイザー	ニュージーランド		

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費 / (2) 中学高校教員交流 (招へい)

諸外国の中学・高校レベルでの日本理解を促進するため、中学・高校の社会科教員または中等レベルの教育行政に携わる者をグループで招へいし、研修、視察の機会を提供する。

合計額 131,752,478 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	中高教員グループ (第1)	韓国	4	2009.10.01 ~ 2009.10.14	各国の中等教育に携わる教員 (主として社会科、国際理解教育) 等76名をグループで招へいし、わが国の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者と意見交換を行なう機会を提供。彼ら青少年教育指導者が日本理解を深めることを通じて、自国の青少年の日本理解促進につなげる
		タイ	1		
		フィリピン	3		
		ベトナム	3		
		マレーシア	3		
		ミャンマー	10		
		インド	3		
		オーストラリア	3		
		カナダ	3		
		ブラジル	3		
		イタリア	3		
		英国	3		
		ドイツ	3		
		フランス	5		
		ポルトガル	3		
		イラク	3		
		シリア	3		
		エジプト	3		
		カーボヴェルデ	1		
		ガボン	1		
		カメルーン	1		
		コートジボワール	2		
		コンゴ民主共和国	2		
		セネガル	3		

市民青少年交流事業費

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
	ブルキナファソ	2		
	マリ	2		
2 中高教員グループ（第2）	カンボジア	3	2009. 12. 03 ～ 2009. 12. 16	各国の中等教育に携わる教員（主として社会科、国際理解教育）等75名をグループで招へいし、わが国の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者と意見交換を行なう機会を提供。彼ら青少年教育指導者が日本理解を深めることを通じて、自国の青少年の日本理解促進につなげる
	ブルネイ	3		
	ラオス	1		
	ネパール	3		
	パキスタン	3		
	メキシコ	3		
	ペルー	3		
	オーストリア	3		
	オランダ	3		
	アゼルバイジャン	3		
	ウクライナ	3		
	ウズベキスタン	3		
	キルギス	3		
	グルジア	3		
	タジキスタン	3		
	トルクメニスタン	3		
	ハンガリー	3		
	ブルガリア	1		
	ルーマニア	3		
	ロシア	3		
	アフガニスタン	3		
	イラン	10		
	セーシェル	2		
	ナイジェリア	2		
	南アフリカ	2		

市民青少年交流事業費

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
3	インドネシア中高教員グループ	インドネシア	15	2009. 11. 05 ～ 2009. 11. 16	インドネシアにおける青少年教育指導者が日本理解を深めることを通じて同国青少年の日本理解促進につなげる目的で、中等教育に携わる教員（主として社会科、国際理解教育）等をグループで招へいし、わが国の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者と意見交換を行なう機会を提供
4	米国教育関係者グループ	米国	24	2009. 07. 01 ～ 2009. 07. 09	米国における初・中等レベルの日本語教育の拡充を主な目的として、米国の当該機関の校長及び州教育行政担当官等を招へいし、日本の教育・文化・社会の現状視察や日本の教員、教育行政の責任者との意見交換を実施。東京のほか、埼玉県内の学校、日本語国際センターも訪問

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費 / (3) 中学高校教員交流 (派遣)

諸外国の中学・高校レベルでの日本理解を促進するため、中学・高校の社会科教員または中等レベルの教育行政に携わる者をグループで派遣する。

合計額 546,236 円

	事業名	対象国	対象機関	人数	期間	事業内容
1	韓日教育者交流事業	韓国	韓国国際交流財団	18	2009.10.18 ~ 2009.11.01	韓国国際交流財団が実施する韓日教育者交流事業（日本の社会科教員の韓国派遣）の①参加者公募協力、②事前オリエンテーション実施協力、③報告書作成協力を行う

1. 人物交流事業費 / (4) 開高健記念アジア作家招へい

日本では紹介されることの少ないアジアの文学を一般市民へ紹介するとともに、文学関係者間の交流を促進するため、アジアから作家を招へいし、日本各地で講演会等を実施する。

合計額 5,547,578 円

	事業名	氏名	所属国	会場	期間	事業内容
1	第19回開高健記念アジア作家招へい	ウティット・ヘー マムーン	タイ	国際交流基金 アクロス福岡 大阪国際交流センター 函館市勤労者総合福祉センター	2010.03.16 ~ 2010.03.29	平成元年に逝去した作家・開高健の遺族から寄せられた寄附をもとに、平成2年から実施しているアジア作家の講演会シリーズ。平成21年度は「日本・メコン交流年」対象国であるタイから、東南アジア文学賞（2009年）受賞者、ウティット・ヘーマムーンを招へいし、東京、福岡、大阪、函館にて講演会を実施したほか、津島佑子（作家）と会談、交流。コーディネーターは宇戸清治（東京外国語大学教授）

2. 催し等事業費 / (1) 市民青少年交流 (主催/派遣)

諸外国の市民青少年レベルでの相互理解と友好親善を促進するため、市民青少年を日本から派遣し、視察・意見交換に加えシンポジウムや講演会などの機会を提供する。

合計額 3,161,861 円

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
1	環境教育ふろしき	村田 静枝 半田 博子 尾崎 聡子	ふろしき研究会講師 セレモニーライター、ふろしき研究家 ラッピング工房OZ ラッピングコーディネーター	インドネシア ベトナム	2010.03.01 ~ 2010.03.13	インドネシア（ジャカルタ）で開催される「第6回エコプロダクツ国際展」会場において、日本文化として、また日本人の環境に優しい取り組みを紹介するという観点から、ふろしきの結び方、包み方のワークショップを実施。派遣専門家のうち1名がベトナム（ハノイ、ホーチミン）にも巡回し、日本文化交流センター、大学及び民間国際交流団体においてワークショップ、レクチャーを実施

市民青少年交流事業費

2. 催し等事業費 / (2) 市民青少年交流 (主催/招へい)

諸外国の市民青少年レベルでの相互理解と友好親善を促進するため、市民青少年交流活動を幅広く展開する機関の関係者や、指導的立場にある専門家を日本に招へいし、視察・意見交換に加えシンポジウムや講演会などの機会を提供する。

合計額 2,284,045 円

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
1	日米学芸員交流 (カルコン)	HUBERMAN, Anthony ELLEGOOD, Anne GIONI, Massimiliano HOFFMANN, Jens ELEEY, Peter RAYMOND, Yasmil	Curator, St. Louis Contemporary Art Centre Senior Curator, Hammer Museum, UCLA Director of Special Exhibitions, New Museum of Contemporary Art, New York Director, CCA Wattis Institute of Contemporary Arts, San Francisco Curator, Walker art centre, Minneapolis Curator, Dia Foundation, New York	米国	2010.02.11 ~ 2010.03.17	2008年6月に開催された日米文化教育交流会議 (CULCON) の提言を受け、米国の現代美術の キュレーター6名を招へい。東京及び地方の美 術館など関連機関を訪問し、日本の学芸員と の意見交換を行なったほか、都内において美 術関係者を対象としたシンポジウムを開催

市民青少年交流事業費

2. 催し等事業費 / (3) 市民青少年交流（助成）〔生活文化〕

日本と海外の市民青少年の相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業、または国際交流基金海外事務所所在国の機関が実施する訪日事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 46,581,467 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	日韓青年社会的企業家のメッセージ ～社会的企業、ここから楽しんでます～	韓国	ノリダン	2009.04.15 ～ 2009.04.19	韓国における文化芸術分野の社会的企業が、日本で同様の活動を行う団体（CANVAS、育て上げネット、ASOBOT、ピースボート、ETIC等）とともに「やりたい仕事で社会の役に立つ」等をモットーに社会問題の新しい解決方法を示し、ネットワークを形成することを目的として、日本の協力団体とともに産業資材・生活用品を使った楽器制作ワークショップ、公演、路上パフォーマンス、講演等を実施。同事業の実施経費の一部を助成
2	'09日韓空飛ぶ車いすプロジェクト	韓国 タイ	空飛ぶ車いすを応援する会	2009.05.01 ～ 2009.12.29	日韓大学生がタイの障害者に車いすを寄贈し、同時に将来タイを拠点にして車いすをインドシナ諸国にプレゼントするためのルートと現地修理工房の立ち上げ準備を行った。タイ・ロップリ地区のお寺で修理作業を実施したほか、利用者との交流としてタイ障害児財団（FCD）を訪問。タイ近隣諸国への寄贈ルート開拓についても議論した。同事業の実施経費の一部を助成
3	日中韓共同制作映画の地域上映による異文化交流	韓国 中国	特定非営利活動法人横浜アートプロジェクト	2009.05.01 ～ 2010.02.28	新作日中韓共同制作映画『3つの港の物語』の上映イベントを各地で実施。併行して地域振興を目的とした地域情報ポータルサイトを活用して、上述の映画製作で培われたネットワークを通じ各地の情報を配信し、3カ国の文化交流を実施。また、新しい時代に即した市民コンテンツプロデューサー養成のための講座も併設。同事業の実施経費の一部を助成
4	2009日韓青少年写真交流	韓国	明るい青少年支援センター	2009.06.01 ～ 2009.11.26	写真公募展で選考された日韓両国の高校生が、両国を相互訪問し、写真に関するワークショップ、交流会等のアクティビティを通じて相互理解を促進。同事業の実施経費の一部を助成
5	第5回日韓文学交流「詩の祝祭」	韓国	日韓詩人文学交流協会	2009.07.26	日韓の詩人による詩の朗読会を開催するとともに日韓合同詩集を発行。同事業の実施経費の一部を助成
6	Kids' AU Camp in Korea	韓国 中国 モンゴル ロシア	Kids' AU・子どもたちのアジア連合	2009.08.01 ～ 2009.12.31	北東アジア5カ国（韓国、モンゴル、ロシア、中国、日本）の青少年約100名が、国境を越えて韓国で出会い、「食べる・寝る・遊ぶ・働く」という暮らしの原点を組み込んだ共同生活を体験。互いの違いと同じを学ぶ場を提供し、平和を機軸とした「アジア連合」実現の土台作りを行った。同事業の実施経費の一部を助成
7	日韓ユースボランティアキャンプ	韓国	財団法人福岡YWCA	2009.08.03 ～ 2009.08.07	晋州（チンジュ）市の青少年と福岡近郊の青少年が、福岡県の福祉施設でボランティア活動を行い、共に他者のために働くことを通じて、協力することを学び相互理解を促進。同事業の実施経費の一部を助成

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
8	日韓青年環境教育ワーク キャンプ	韓国	特定非営利活動法人環境 ネットワークくまもと	2009.08.06 ~ 2009.08.09	環境ネットワークくまもとと韓国の環境ネットワーク団体・機関 (緑の忠南21推進協議会、忠南環境ネットワークなど)による、青 少年を対象とした環境をテーマとするエコナレッジ・エクステン ジ(環境知識・知見交流)型のワークキャンプを韓国忠清南道にて 実施。同事業の実施経費の一部を助成
9	日韓友好交流ボランティア ワークキャンプ2009	韓国	特定非営利活動法人グッド	2009.08.16 ~ 2009.08.28	江原道原州市の農村にて、日本人と韓国人の若者が協力して農作業 や村のモニュメント作りなどの村の仕事を手伝い、韓国の伝統音楽 ムンブルを地域の人から教わるなど村での共同生活、共同作業を通 じて日韓の若者の成長と相互理解を促進。同事業の実施経費の一部 を助成
10	環境交流韓日未来フォーラ ム	韓国	釜山韓日文化交流協会	2009.08.18 ~ 2009.08.27	慶南大学、蔚山大学、仁済大学、昌原大学の日本語関連学科から各 5名を一般公募し、環境専門家(釜慶大学環境システム工学部教 授、釜山環境運動連合活動家)とともに来日、山口にて日本側大学 生と「環境保全」を主題としたフォーラムを開催したほか、海岸清 掃、ホームステイ等を実施。同事業の実施経費の一部を助成
11	韓日新老年文化運動の発展 のための老人福祉交流事業	韓国	老人総合福祉館協会	2009.09.08 ~ 2009.09.11	「新老人文化運動」の展開を目的に、日本の同分野の関係団体、全 国老人クラブ連合会、東京都老人総合研究所、新老人の会を訪問、 交流を通じて、老人福祉問題、高齢化社会問題等について相互の状 況と情報を共有、交流を行った。同事業の実施経費の一部を助成
12	韓日交流おまつり in Tokyo	韓国	アートコムパン	2009.09.19 ~ 2009.09.21	2005年より毎年ソウルで行なわれ、定着しつつある市民レベルの日 韓共同、最大規模の交流事業である「韓日交流おまつり」。5年目 を迎え、初めて日韓同時開催とすることにあたり、韓国を代表する伝統 及び現代舞台芸術を紹介する複数の公演団が訪日し、市民との交流 を図った。同事業の実施経費の一部を助成
13	日韓現代演劇交流セミナー	韓国	財団法人北海道演劇財団	2009.11.12 ~ 2009.11.13	2007年にソウル演劇祭大賞を受賞し、同年に札幌でも公演を行った 劇団青羽(チョンウ)の演出家、俳優を招き、一般市民を対象に体 験ワークショップ及びシンポジウムを開催。同事業の実施経費の一 部を助成
14	日韓友好ろうあ者卓球交流 会	韓国	日本ろうあ者卓球協会	2010.02.19 ~ 2010.02.22	韓国の聴覚障害を持つ卓球選手とコーチを日本ろうあ者卓球協会主 催の第6回全国ろうあ者親善卓球大会に招へい。卓球を通して日韓 の聴覚障害者のスポーツ交流を実施。大会前には招へい選手が日本 国内の聴覚障害者関連機関を訪問。同事業の実施経費の一部を助成
15	TETSUSON Korea	韓国	TETSUSON Korea	2010.03.02 ~ 2010.03.09	「てつそん」とは、日本全国のデザイン・芸術系大学学生のイニシ アチブによる合同卒業制作展(「卒展-そつてん」の文字を並び替 えた造語)。横浜のBankART Studioで開催される同展2010に対し、 韓国の「TETSUSON Korea」が展示参加し、両国デザイン・芸術系学 生の交流を実施。同事業の実施経費の一部を助成
16	日韓文化交流「日韓の歴史と 詩の叙情を探る」	韓国	前橋朗読研究会「BREATH」	2010.03.27	日韓併合百年目となる年に、過去の日韓の歴史を語り合い、両国の 文化を詩を通じて理解し合う事業を実施。同事業の実施経費の一部 を助成

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
17	越後妻有・香港アート交流プロジェクト	中国	大地の芸術祭実行委員会東京事務局	2009.04.01 ～ 2009.07.28	「大地の芸術祭－越後妻有アートトリエンナーレ2009」の一環として、過疎高齢化が進む新潟県津南町・足滝集落に香港アートセンターの学生及びアーティスト延べ20名が滞在、住民と協働でアート作品を制作することを通して、集落の活性化を図り、ネットワークを構築。同事業の実施経費の一部を助成
18	「D-Suita」～あなたのDを探してみない?～	中国	社団法人吹田青年会議所	2009.05.31 ～ 2009.08.03	吹田市内の商店街（空き店舗）を利用し、吹田と香港の学生が店舗を共同運営する事を通じて交流する機会を設け、情報交流・意見交換を行なった。同事業の実施経費の一部を助成
19	テキスタイルアートの伝統から未来を考える	中国	布の記憶／糸の時間 日中交流展 実行委員会	2009.07.02 ～ 2009.07.13	日本と中国の出品作家5名ずつ計10名が「記憶と時間」をテーマに繊維素材を使用した作品を制作し、双方の国で発表。両国の作品発表者と鑑賞者が、展覧会と会期中開催するシンポジウムで直接交流した。日本では京都で開催し、中国側の出品作家を2名招いて、日本の関係者や教育機関と対話し交流した。同事業の実施経費の一部を助成
20	日中友好障害者セーリング交流	中国	特定非営利活動法人ヨットエイドジャパン	2009.09.26 ～ 2009.09.29	日中の障害者セーラー、介助者、ボランティアが集いパラリンピック・ヨットで交流レースを行い、両国障害者セーリングのレベル・アップとそれを支える市民ボランティアの交流を行い、障害者スポーツへの理解を深めた。同事業の実施経費の一部を助成
21	日中子ども水環境交流会	中国	東アジア環境情報発信所	2010.03.26 ～ 2010.03.30	中国天津において、環境汚染現場の見学と現地の子どもたちとの交流を通じ、未来を担う子どもたちに水汚染問題について考えると同時に、次世代のネットワーク構築を図った。日本の小学生が新潟水俣病安田患者会の会員とともに訪中し、フィールドトリップ、現地小学生との交流会に参加した。同事業の実施経費の一部を助成
22	地球家族のきずな求めてモンゴル訪問－草の根市民交流の深化・発展に向けて－	モンゴル	いっくら国際文化交流会	2009.09.16 ～ 2009.09.21	「いっくら・アジア隣人ネットワーク会」のネットワーク会「ウランバートルいっくら」との協働により、「国際フォーラムinウランバートル」ワークショップ「大学生・高校生との対話」、「日本文化紹介－茶道・着物着付・折紙・書道」、琴の演奏会を実施。同事業の実施経費の一部を助成
23	日本カンボジア学生合同ボランティア活動	カンボジア	特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会	2009.08.03 ～ 2009.08.14	「教育」をテーマに日本語を学ぶカンボジアの青年と日本の青年たちが中学校建設活動を通じ、寝食を共にしながら汗を流し交流を深めることで、次世代リーダーたちの交流を図ると共に、カンボジア王国における未来志向のアジアネットワーク構築を図った。同事業の実施経費の一部を助成
24	世界の子どもをつなぐ教室	カンボジア インド	「世界の子どもをつなぐ教室」実行委員会	2009.08.08 ～ 2009.08.23	札幌市内の大学生・大学院生5名が中心となり、国際交流の機会に乏しい道内の中高生約70名を対象に国際理解教育イベントを開講。途上国の子ども問題に関する講演、途上国NGO（カンボジア、インド）の高校生約70名との手紙の交換、自分たちができる国際協力を考えるワークショップを実施。同事業の実施経費の一部を助成

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
25	グローバル・ピースメーカー・キャンプ	カンボジア	サービスポーピース	2009.09.03 ~ 2009.09.13	日本とカンボジアの大学生・青年を対象とした文化交流と地域問題解決のプログラム。プノンペン市内や農村部で保健センターの修繕作業や子どもたちに対する衛生教育を2カ国の若者が力を合わせて行うとともに、文化交流会、異文化ワークショップ、ホームステイ等を通して相互理解を促進。同事業の実施経費の一部を助成
26	国際こどもアート・フェスティバル イン シンガポール 2009	シンガポール	特定非営利活動法人リトル・クリエイターズ	2009.12.18 ~ 2009.12.21	日本の子どもたちが、ダンス、美術、歌など様々な創作活動を通じて、シンガポールの子どもたちと文化交流を図るプログラム。BTバディング・アーティスト・ファンド(BTBAF)が2005年から開催している「アートキャンプ」と連動し、日本から児童10名がシンガポールを訪問した。同事業の実施経費の一部を助成
27	日本タイ青少年空手道交流相互理解促進事業	タイ	特定非営利活動法人一橋空手道一空会	2009.04.29 ~ 2009.08.17	日本・タイ青少年の相互訪問により、日本の伝統的武道である空手道の共同研鑽を通じ、心技体に亘る人格形成と礼節を重んじ相手を尊重する精神の育成を図った。日本文化の普及促進、異文化体験、両国産業経済への理解、さらにこれらをテーマとするワークショップを実施。同事業の実施経費の一部を助成
28	食文化を通じたタイ児童健康キャンペーン	タイ	地球市民ACTかながわ/TPAK	2009.08.08 ~ 2009.09.03	横浜の国際協力NGO、地球市民ACTかながわ/TPAKの大学生グループが、タイの貧困地域の子ども達約1,000名が入寮している巨大孤児院と山岳部の少数民族350名の学校寮に1カ月間滞在し、日本の食文化を素材にした栄養教育キャンペーンを中心に、衛生環境・健康改善や文化交流活動を実施。横浜の子ども達と共に、健康について学んだ。同事業の実施経費の一部を助成
29	日タイこどもの絵展	タイ	特定非営利活動法人国際教育情報交流協会	2009.09.01 ~ 2009.12.31	タイ南部、インドネシア・スマトラ沖地震被災地、アンダマン地方のこども達と地震被災15周年を迎える神戸市のこども達の絵を中心とした展示会を神戸市で開催。また国際フォーラムのパネラーとしてタイ美術教育指導者2名を招へいし、あわせて学校訪問等を通じて日本の美術教育の現場見学・交流を実施。同事業の実施経費の一部を助成
30	2009青梅アートジャム	タイ	特定非営利活動法人文化交流機構 円座	2009.09.20 ~ 2009.10.03	「自然への共存を通して創造する力を育む」をメインコンセプトに、4人のタイ人作家によるワークショップ「紡ぎと染めの手作り体験」を中心に、市民や小・中学校で20余名の表現者が各種ワークショップやパフォーマンスを展開。両国の作家と参加者による文化交流の場を実現した。同事業の実施経費の一部を助成
31	泉南青年会議所 日・比こども心の交流事業	フィリピン	社団法人泉南青年会議所	2009.04.21 ~ 2009.05.03	フィリピンこども民族舞踊団「母なる大地の子どもたち」を招へいし、地域の中学校全10校における民族舞踊公演を通して日本の子どもとの心の交流を図る事業を実施。また最終日には市民ホールにおいても市民向けに開催し、双方の国際理解を深化。同事業の実施経費の一部を助成
32	日比国際児のための演劇を通じた療法、教育、アドボカシー	フィリピン	ドーン	2009.05.16 ~ 2009.06.04	ジャパニーズ・フィリピーノ・チルドレン(日比国際児)8人とドーンスタッフが、自分たち自身をテーマとしたミュージカルを日本7カ所で上演。日本人の日比国際児に対する理解を深めるとともに、日本人の子どもとの交流、各種アクティビティを通じて父親の国である日本文化の理解を促進。同事業の実施経費の一部を助成

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
33	戦後65年一日・比理解促進・連続ワークショップ	フィリピン	ブリッジ・フォー・ピース	2009.12.12 ～ 2010.05.31	日本・フィリピン関係史を連続講座で学び、理解を深めることで、より豊かな関係構築を目指す事業。フィリピン人による戦争当時を回顧する証言映像の視聴、両国関係に詳しい講師を招いての連続講座開催により、総合的な日本・フィリピン関係理解を促進。同事業の実施経費の一部を助成
34	日馬ビデオ交流展2009	マレーシア	スプレッド・ビデオアート・プロジェクト・ツアー	2009.09.12 ～ 2009.10.11	ワークショップ、スクリーニング、ダイアログの3つのプログラムで構成されたビデオ表現の催しを実施。マレーシア人映像作家と日本人参加者が映像表現の交流、交友、知識交換を行った。同事業の実施経費の一部を助成
35	市民が支えるアジアの多民族共生世界遺産	マレーシア	社団法人奈良まちづくりセンター	2009.12.01 ～ 2010.06.30	2008年7月に世界遺産に登録されたマレーシアのペナンには、多民族の生活が息づいた魅力的な町並みが残っており、その保存には、市民組織ペナン・ヘリタージュ・トラストが大きな役割を担っている。同組織のリーダーを奈良に招き、世界遺産を支える市民の役割についてフォーラムを開催し、交流を図った。同事業の実施経費の一部を助成
36	マレーシアと日本における国際交流活動	マレーシア	特定非営利活動法人パンゲア	2009.12.01 ～ 2010.06.30	マレー系、イスラム系、中華系など多文化からなるマレーシアの子ども達と日本の子ども達が国際回線を通じた独自コンテンツにより言葉・文化・距離の壁を越えて国際交流活動を実施。国際間の移動なく、両国の子ども達がお互いを理解する環境を提供。同事業の実施経費の一部を助成
37	ラオスと日本で森を考える交流	ラオス	特定非営利活動法人地球の木	2010.02.13 ～ 2010.02.21	ラオスの支援村を訪問し、「森」の役割や村人との関わりについて現地住民の講話を聴取。日本の現状を紹介しながら持続可能な開発について、意見交換を実施。同事業の実施経費の一部を助成
38	国際交流事業「タゴール以後のインド詩をめぐってー多言語国家の文学」	インド	一般社団法人日本詩人クラブ	2009.12.10 ～ 2009.12.17	在京インド大使館、「インド文学の歴史的展開と現在」研究プロジェクト・チーム、日印協会等の協力を得て、インド文学を包括的に擁護・推進するインド国立文学院会長シュニル・ゴンゴパッドエを招へいし、インドと日本との文学交流に関する会議を開催するとともに、国際子ども図書館及び在京インド大使館インド文化センターにおいて講演会を実施。同事業の実施経費の一部を助成
39	図書館を中心にしたスリランカ防災教育支援	スリランカ	スリランカと佐賀の会	2010.01.30 ～ 2010.02.18	2004年の津波では、人々に津波に関する知識が不足していたため膨大な被害を招いたという反省から、2006年には佐賀県民の協力でスリランカ南東部のハンバントタ学校に「佐賀ランカ友好図書館」を設置。本年度は同図書館と建設中の講堂も活用し、子ども達と地域住民に対して津波等の防災教育を実施。同事業の実施経費の一部を助成
40	国境なき子どもたち公開講座「シリーズ アジア」	アジア地域区分困難	特定非営利活動法人国境なき子どもたち (KnK)	2009.04.11 ～ 2010.03.06	国境なき子どもたち (KnK) が活動を展開しているアジア10カ国の社会・文化事業に精通した講師を迎え、アジアに対する理解を深めてもらうことを目的に一般市民を対象とした公開講座を6回開催。同事業の実施経費の一部を助成

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
41	Superperfect	オーストラリア	Shopfront	2009.08.17 ~ 2009.08.27	Shopfrontは、芸術活動を通じて青少年の育成に取り組むオーストラリアの非営利法人。日本とオーストラリアを相互訪問し、両国の青少年、若手アーティストを対象にワークショップ、共同制作を行うにあたり、日本側共催者Nibro11と日本でワークショップを実施。同事業の実施経費の一部を助成
42	日米加子どもの環境シンポジウム	カナダ 米国	特定非営利活動法人劇団風の子関西	2009.09.13 ~ 2009.10.03	ゲイル・ラジョーイの招へい・全国10カ所巡回公演（子ども向け無言劇）の機会を捉え、デビット・カー（バンクーバー国際チルドレン・フェスティバル総監督）を招へいし、日本の有識者とともに日米加の現代の子どもの状況や子どもの環境の問題についてシンポジウムを実施。同事業の実施経費の一部を助成
43	日本・カナダ コンソーシアム・フォーラム	カナダ	高円宮日本教育・研究センター	2010.02.13 ~ 2010.02.23	日本・カナダ両国それぞれ13大学によるコンソーシアムが実施する学生会議。各大学より各1名が参加し「環境」をテーマに8日間にわたってフォーラムを開催。並行して研究者による会議も開催。同事業の実施経費の一部を助成
44	日ハワイ異文化間教育交流プログラム	米国	ハワイ日米協会	2009.07.21 ~ 2009.07.29	申請団体が主催するJapan Wizard(高校生を対象とする日本語能力、日本に関する知識のコンペ)の上位得点者である高校生3名及び随行者1名計4名が9日間の日程で訪日し、日本側受入れ団体の協力のもとに在京米国大使館、自治体、産業文化施設等を訪問するとともに、日本の高校生との交流を実施。同事業の実施経費の一部を助成
45	米国・バーモント州との文化交流	米国	特定非営利活動法人国際交流の会とよなか (TIFA)	2009.09.18 ~ 2009.09.28	1999年より毎年実施している米国・バーモント州の公立小・中学校教師訪日受入れ事業をきっかけとし、同州を訪問して小・中学校の教師・子ども・地域の人々に日本文化を紹介し、日本に対する理解を深めてもらう催し。多文化共生社会・自然環境保存の先進州バーモントの人たちから手法・考え方などを学び、日本社会に生かす。同事業の実施経費の一部を助成
46	キューバ映画祭 in サッポロ	キューバ	キューバ映画祭 in サッポロ実行委員会	2009.12.01 ~ 2010.04.30	札幌市内の映画館で開催するキューバ映画祭でキューバに関する連続講座や交流イベントを実施。講演会、コンサートを幅広い市民に呼びかけて開催。同事業の実施経費の一部を助成
47	多文化共生のためのボリビアとのテレビ電話対話	ボリビア	対話プロジェクト	2009.07.02 ~ 2009.07.27	ボリビアとの間で多文化共生を目的とした対話を実現するため日本からコーディネーターと衛星データ通信機材を送り、インターネット経由で複数回のテレビ電話対話を実施。日本側は、沖縄県栗国島の中学生。ボリビア側参加者は沖縄からの移住者子弟が通うスエバ・エスペランサ学校とラパスの日本語普及学校。同事業の実施経費の一部を助成
48	2009旭川・ウィーン国際ヴァイオリンセミナー	オーストリア	旭川・ウィーン国際弦楽セミナー実行委員会	2009.10.18 ~ 2009.10.24	旭川市大雪クリスタルホールで行なうヴァイオリンセミナーにあわせてウィーン国立音楽大学弦楽科の学生4名を招へいし、市民向け無料コンサート、小学校2校（向陵小、東光小）、中学校2校（神居中、啓北中）において「クラシックふれあい授業」を実施。同事業の実施経費の一部を助成

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
49	ヴィーゼルブルク音楽学校との交歓演奏会	オーストリア	マリー・ピアンカ	2009.10.24 ～ 2009.11.02	オーストリアの音楽学校の生徒を招き、川崎市内の学校等で音楽を学ぶ生徒との合同練習やコンサートを実施。また、同市内の学校における交流会や、茶道・書道・華道、紙すき、機織、竹細工等の日本文化体験、ホームステイを通して日本文化の紹介を行った。同事業の実施経費の一部を助成
50	ユースウィーク+日独ユースサミット	ドイツ	日独青少年協会	2009.08.12 ～ 2009.08.21	日独交流年2005～2006以後、毎年日独両国において交互に開催されている青少年サミットの第5回。「私たちの未来を創る」をモットーに、200人規模の参加者で教育、社会システム、環境と技術、ライフスタイルの4つのカテゴリーのディスカッションを東京のドイツ文化センター、国立オリンピック記念青少年総合センターを会場に行ったほか、訪日者の国会、企業・工場視察を実施。同事業の実施経費の一部を助成
51	日本建築に見る空間と時間	フランス	サンテチエンヌ国立高等建築学校	2009.05.10 ～ 2009.05.24	日本建築の空間と時間をテーマに、東京、熱海、名古屋、金沢、京都での建築作品を視察後、京都工芸繊維大学でワークショップを実施。東西文化の差異の観点からフランスの建築との比較を行った。事業成果は、サンテチエンヌにおいて展示会を行うとともにブログで発表された。同事業の実施経費の一部を助成
52	ニューカレドニア市民青少年国際交流	フランス [仏領ニューカレドニア]	グラン・ヌメア高校	2009.07.15 ～ 2009.07.26	太平洋金属株式会社本社工場が八戸市にあり、同社の取り扱うニッケルの輸入元がニューカレドニアであることをきっかけに市民・青少年レベルの交流を実施するもので、ニューカレドニアのグラン・ヌメア高校で日本語を学ぶ学生15名が教師3名の引率により12日間八戸市に滞在し、八戸市民及び高校生と交流を行った。八戸国際交流協会が受入れ。同事業の実施経費の一部を助成
53	バルカンの日本文化週間	セルビア ブルガリア	特定非営利活動法人歴史文化交流フォーラム	2009.08.20 ～ 2009.08.30	資本主義経済の浸透による急激な社会の変化にさらされているバルカン半島（セルビア、ブルガリア）において、日本の伝統的な庶民文化に見る自然との共生、現代のエコツーリズム等を展示と実演、講演を通して紹介し、環境保全型の発展のあり方を現地住民と共に検討。同事業の実施経費の一部を助成
54	友好交流記念ハンガリー理解促進事業「ハンガリー・デーinあおもり」	ハンガリー	青森県ハンガリー友好協会	2009.05.16	青森県ハンガリー友好協会設立15周年記念事業として、ハンガリーのケチケメート市と友好関係にある青森市民のハンガリー理解を深めて今後の友好に資するため、ハンガリーやその文化等を紹介する事業を実施。ハンガリー政府観光局長の講演とともに同国の文化紹介を実施。同事業の実施経費の一部を助成
55	ハンガリーとトランシルヴァニアのフォークロアに関する文化交流	ハンガリー	日本ハンガリー友好協会	2009.07.02 ～ 2009.07.09	ハンガリー（トランシルヴァニア）の作家ヴィシュキ・アンドラーシュを招へいし、ハンガリーの民話、についての講演、トランシルヴァニアのフォークロア（民族舞踊）公演を実施。同事業の実施経費の一部を助成
56	ラトビア共和国ルーイエナ町日本文化伝承交流事業	ラトビア	北海道東川ラトビア交流協会	2009.05.28 ～ 2009.06.04	2008年7月のラトビア・ルーイエナ町と北海道東川町間の姉妹提携を機会に、町民17名がルーイエナ町において和太鼓・盆踊りを紹介するとともに桜の木植樹、茶道教室を実施。食文化伝承事業として日本食試食会を実施。同事業の実施経費の一部を助成

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
57	ルーマニア モルドヴァ スタディーツアー 2009	ルーマニア	特定非営利活動法人歴史的 建造物保存協会	2009.11.20 ~ 2009.11.27	文化遺産、観光、芸術、メディアなど各分野の専門家チームと将来の担い手をめざす参加者が、ルーマニア・モルドヴァ地方の文化遺産保護の現状を視察。現地でワークショップ「モルドヴァ地方における文化遺産継承の取り組み」を開催。両国間の協力体制の在り方や事業案について、現地専門家や大学生とともに提案を行った。同事業の実施経費の一部を助成
58	第2回こどものまち世界会議 in 横浜	欧州地域区分困 難	特定非営利活動法人ミニシ ティ・プラス	2009.08.07 ~ 2009.08.09	横浜開港150周年記念事業として実施するイベントの機会を捉え、「こども・青少年が創る遊びのまち」を実践しているドイツをはじめとするヨーロッパ各国及び日本各地の主権団体とそこに関わっているこどもたちが一堂に会し、「第2回こどものまち世界会議」を開催。同事業の実施経費の一部を助成
59	'09平和をつくる子ども交流 プロジェクト	イスラエル パレスチナ	特定非営利活動法人聖地の こどもを支える会	2009.07.28 ~ 2009.08.12	紛争の続くイスラエル・パレスチナの地に日本の青少年を派遣し、両国の若者とともに、16日間の体験・対話・交流を通して戦争と平和を考え、民族・宗教・文化の違いや敵意を超えて平和への決意を学んだ。同事業の実施経費の一部を助成
60	“絆” KIZUNAプロジェクト 2009 in Japan	イスラエル パレスチナ	Peace Field Japan	2009.08.09 ~ 2009.08.21	日本、イスラエル、パレスチナの青少年たちが、日本の地方を舞台に約2週間の共同生活を行い、土地の文化・伝統・自然体験を通して、出会った人との絆、地域や自然との絆に気づき、それらの絆を育み、そこから未来へと繋がる平和な文化を作り上げていくきっかけを作るプログラムを実施。同事業の実施経費の一部を助成
61	サクラ記念植樹ワーク ショップ「縁引」&美術交流 シンポジウム「美術と市民」	トルコ	特定非営利活動法人国際協 力アカデミーひろしま	2010.01.03 ~ 2010.01.12	トルコにおける日本年（2010年）を契機に、サクラの苗木を毎年千本ずつ、3年間継続して植樹する事業を実施。日本年オープニングにあわせてアンカラ大学で行なわれた植樹記念ワークショップにおいて、トルコ、日本両国の市民が水引をベースとした「縁引（ゆかりひき）」を水引に倣った結び方により多数作成し、日本の美術家が繋いで大きな一つの作品に仕上げ、完成作品はアンカラで開催される日本年オープニングでの記念植樹の際に披露。同事業の実施経費の一部を助成
62	FISB 第23回世界スピード ボール選手権2009 エジプ ト大会	エジプト	特定非営利活動法人日本ス ピードボール協会	2009.08.01 ~ 2009.11.02	エジプト、フランスをはじめアラブ各国で普及しているラケットスポーツ競技「スピードボール」を通じての国際交流・福祉交流。エジプトで開催される世界選手権の機会をとらえ、現地の小学校や福祉施設にて寄付や障害者スピードボールの生涯スポーツとしての普及、指導、地域住民との交流、ジュニア選手同士の交流を推進。同事業の実施経費の一部を助成
63	A-styleアフリカ・スタディ ーツアー 2010	ウガンダ	A-style高校生海外研修チ ーム	2010.01.04 ~ 2010.01.14	秋田県の高校生4名がウガンダを訪問し、現地の若者たちとの交流を通して相互理解を深めることを目的としたスタディーツアーを実施。国際協力機構（JICA）ウガンダ事務所、民間企業、各種NGOを訪問し、現地の子どもたちとも交流を行った。2010年11月に本事業の報告を含む『高校生のためのアフリカ理解入門』（アルテ）を刊行。同事業の実施経費の一部を助成

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
64	ジンバブエ・ムビラ伝統文化交流プロジェクト	ジンバブエ	東アフリカNGOMA親交会	2009.04.01 ~ 2009.05.01	ジンバブエのショナ族が500年以上も引き継いできた伝統音楽ムビラの伝統奏者ルケン・バシバミレを招へいし、音楽文化の講演、日本人ムビラ奏者との演奏を東京、横浜、名古屋、浜松、京都、大阪ほか日本各地で実施。同事業の実施経費の一部を助成
65	親子のためのアフリカ文化の交流促進事業	アフリカ地域区分困難	特定非営利活動法人アフリカ日本協議会	2009.04.01 ~ 2010.03.31	1994年に設立した同団体が運営する「アフリカンキッズクラブ」「在日アフリカ出身家族の生活を考える会」の2つの事業を融合し、日本社会でアフリカ文化の理解を促進。在住アフリカ人配偶者の家族と子供の生活から見える問題を通じて日本社会における共生を目指す親子向け連続講座を実施。同事業の実施経費の一部を助成
66	4コマ漫画巡回展示会「僕らの世界で今何が？」	全世界区分困難	アマミーナ大島高校チーム	2009.07.01 ~ 2009.08.31	奄美の高校生が企画した巡回展示会。「世界で今何が起きているのか？」を主題に、今社会で起きている問題を自分たちの視点を通して4コマ漫画により表現した作品を世界から公募。私たちがそれに対して何をすべきなのかを考えるプロジェクト。同事業の実施経費の一部を助成
67	世界コスプレサミット2009	全世界区分困難	世界コスプレサミット実行委員会	2009.08.01 ~ 2009.08.02	各国のコスプレイヤーを招へいし、日本の青少年とマンガ、アニメ、コスプレを通じた交流を図った。7回目を迎え、世界15カ国の青少年が参加。主要イベントである大須コスプレ・パレード、世界コスプレ・チャンピオンシップの他、東京その他の地域で日本の青少年との交流事業を実施。同事業の実施経費の一部を助成
68	日本語サミット・ニッポン新発見塾	全世界区分困難	特定非営利活動法人ジャパン・リターン・プログラム	2009.08.17 ~ 2009.09.15	過去10回の「日本語サミット」を総括。これまで招へいした128カ国162名のオールドパネリスたちの国際的ネットワークを活用し、各国で選ばれた参加者と日本企業の若手参加者が、ディスカッションや企業訪問、講演会などを通じて多文化共生社会のあり方を考えた。同事業の実施経費の一部を助成
69	アーティスト・イン・レジデンス 美濃・紙の芸術村	全世界区分困難	美濃・紙の芸術村実行委員会	2009.09.01 ~ 2010.01.31	米国、南アフリカ、ドイツ、日本から各1名のアーティストを美濃市に招へいし、伝統工芸美濃和紙を素材とした作品創作を実施。期間中に市内3校の小中学校でのワークショップを行い、青少年との交流を図った。また事業を通じ、招へいアーティストと紙漉き職人との交流も実現した。同事業の実施経費の一部を助成
70	スノースケープ・モエレV レクチャー&ワークショップ・プログラム	全世界区分困難	特定非営利活動法人S-AIR	2009.09.01 ~ 2010.03.20	札幌の冬をテーマにした市民参加型アートイベント「スノースケープ・モエレV」において、道内若手アーティスト、クリエイターと青年層を対象に、欧寧、久保田弘成、高嶺格の3名が、アジアのアートシーン及び日本人が海外で活動するための実践、戦略を紹介する公開レクチャーとワークショップを実施。同事業の実施経費の一部を助成
71	創立30周年記念イベント ー多文化共生を目指して “バイリンガルへの挑戦” 30年ー	全世界区分困難	神戸クロスカルチュラルセンター	2009.11.22	国籍、文化、年齢などの差を超えて、その年々に地球社会が直面する共通の課題をテーマに、多様な視点から各人が日本語と英語の2カ国語で語るバイリンガルスピーチコンテストを開催（テーマは「リーダーシップ」）。コンテスト後過去の優勝者5人を囲んで記念フォーラムを実施し、コンテスト30年の軌跡を記念ニュースレターとして発刊。同事業の実施経費の一部を助成

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
72	国際交流20周年記念プログラム～人・地球・未来～	全世界区分困難	オオサカ・イン・ザ・ワールド実行委員会	2009. 11. 25 ～ 2009. 11. 30	世界各国の文化を理解するために活動を続けてきたオオサカ・イン・ザ・ワールド実行委員会が設立20周年記念プログラムとして、19カ国19名招へい。最終日にラウンドテーブルディスカッションを実施。初めて来日し交流をした年から今までに各国での活動、また今後の活動等について確認しあい、ネットワーク構築を行った。同事業の実施経費の一部を助成
73	シンポジウム「ピースカートゥニング イン ジャパン——漫画家の目から見た日本、世界、地球」	全世界区分困難	フェコジャパン（世界漫画家連盟日本支部）	2009. 12. 05 ～ 2010. 01. 17	フランス、トルコ、イスラエル、米国から国際的に活躍する漫画家を招へいし、カートゥーン（一枚風刺漫画）の表現の問題及び平和と国際理解の関わりについて市民とともに考えるシンポジウムを実施。同事業の実施経費の一部を助成
74	世界とつながる国際協力イベント HOP STEP'09～わたしの100歩よりみんなの1歩～	全世界区分困難	HOT STEP'09実行委員会	2009. 12. 06	一般市民に世界の貧困事情を伝え、その解決に向けてともに行動の一步を踏み出すことを目的とした国際協力イベントHOP STEPを京都で実施。フェアトレード製品を用いたファッションショー、途上国の社会文化や貧困事情を紹介するパネル展示、異文化紹介ブースの設置などを通じて来場者に世界とのつながり、国際協力の魅力などを伝えた。同事業の実施経費の一部を助成
75	阪神淡路大震災15周年記念事業「被災留学生による語り部」とメモリアルコンサート	全世界区分困難	特定非営利活動法人留学生ホストファミリー交流センター	2010. 01. 16	「被災元留学生による語り部」では極限状態の中で弱者と考えられがちな留学生（韓国1名、中国2名、インド1名、ロシア1名）が、国籍などの差を超え人間同士として助けあった「共生」の体験を大震災15周年を記念して語るとともに、上塚憲一がベルリンフィルの12人のチェリストに学んで結成したチェロアンサンブル「エクラ」の演奏で癒しと再生を祈念。同事業の実施経費の一部を助成
76	高校生国際みずフォーラム in 湖国・滋賀	全世界区分困難	立命館守山高等学校	2010. 02. 16 ～ 2010. 02. 23	持続可能な社会の実現に向けて、国内外で水環境や水資源に関わる研究・実践を行う8カ国の高校生が集い、水を通して人間と自然環境と科学技術について考える2日間のフォーラムを開催。各高校で行われてきた研究・実践について英語による口頭発表とポスターセッションを行うと共に、参加者の「共同宣言」をまとめた。同事業の実施経費の一部を助成
77	第4回21世紀ミュージアム・サミット 「100人で語る美術館の未来」	全世界区分困難	財団法人かながわ国際交流財団	2010. 02. 27 ～ 2010. 02. 28	日米仏の美術館活動のドキュメンタリー映像と実践報告を素材として、コミュニオン(共同体)の形成媒体としての美術作品がいかなる過程を経て社会的・文化的意義を帯びるのかを、美術館における市民参画という視点から検討する、美術館と社会の協働の道を考えるフォーラムを開催。同事業の実施経費の一部を助成